

# ヨコハマ市民まち普請事業 一次コンテストで6提案を選考！



令和2年10月10日（土）にヨコハマ市民まち普請事業令和2年度一次コンテストを開催し、8名の審査員による公開投票の結果、11グループの整備提案から二次コンテストへと進む6提案が選考されました！

令和3年3月7日（日）開催予定の二次コンテストに向けて、グループごとに実現性や地域まちづくりへの発展性が高まるよう提案内容を検討し、磨き上げていきます。

## 選考された整備提案＜グループ＞

### 古民家と里山で農を通じて多様・多世代が繋がる場創り(青葉区)＜寺家古民家ラボ＞

古民家のキッチンやトイレ等を整備し、隣接する里山の保全とあわせて地域連携拠点を整備

### 「水」と「火」のある地域のほっとステーション(緑区)＜Co-coya復活プロジェクト実行委員会＞

既存井戸の再生や薪風呂等を設置し、昭和の文化住宅の1階を交流の場として整備

### 樹木医と目指す、荒れた里山を整備・活用して次世代へ(旭区)＜里山再生よこはま森のアトリエ＞

荒れた山林や農地を保全し、森づくりに関する学びの場やコミュニティの場として整備

### 子安台の空き家を活用した交流拠点づくり(神奈川区)＜空き家を活用して子安台と新子安に交流拠点を つくる会＞

空き家を改修し、サロンやイベントを行う多世代交流拠点を整備

### 車椅子でもOK！だれでも集える多目的交流スペース(戸塚区)＜ぐるーぶ・ちえのわ事業検討委員会＞

空き家をバリアフリー化し、既存施設と連携して車椅子でも利用できる交流拠点を整備

### スマホで繋ぐwithコロナ時代の虹色ステーション(港南区)＜+α(プラス アルファ)＞

スマホアプリを活用しながら、コロナ禍でも活動できる地域の情報発信拠点を整備

## コンテスト初のYouTubeでLIVE配信！

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、ヨコハマ市民まち普請事業の公開コンテスト初となるLIVE配信を行い、まちづくりに興味のある多くの方に視聴いただきました。

## ヨコハマ市民まち普請事業とは・・・

市民の皆さまから地域の課題解決や魅力向上のための施設整備に関する提案を募集し、二段階の公開コンテストで選考された提案に対し、最大500万円の整備助成金を交付するなど、市民の皆さまが主体となったまちづくりを支援する横浜市独自の事業です。

### ■提案グループのプレゼンテーション



### ■情報収集タイム



### ■審査員との質疑応答



お問い合わせ先

都市整備局地域まちづくり課担当課長

萩原 慶一

Tel 045-671-2665